

施策No.	政策名	魅力と活力のある産業社会づくり	主管課	商工観光課	主管課長名	鈴木 政俊
502	施策名	商工業の振興	関係課	企画課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	①市内の事業者 ②市内の従業者数 ③市内の鉱工業事業所数 ④市内の鉱工業従業者数	①市内の事業所数	見込値	所	見込値	2,398	2,398	2,398	2,212	2,155	2,098	2,042	1,985
実績値			2,398										
②市内の従業者数		見込値	人	見込値	16,772	16,772	16,772	14,995	14,465	13,935	13,406	12,876	
		実績値											16,772
③市内の鉱工業事業所数		見込値	所	見込値	216	196	231	203	191	241	239	237	235
		実績値											
④市内の鉱工業従業者数		見込値	人	見込値	4,289	4,355	4,262	4,417	4,355	4,297	4,297	4,297	4,297
		実績値											
的	施策の意図	成果指標名	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	①経営を安定させ、事業を継続して行ってもらおう ②既存の企業の活性化を図る	①商業売上高	百万円	目標値				51,758	50,205	48,699	47,238	45,821	44,447
実績値			53,359	53,359	53,359	54,382	54,382	54,382	54,382	54,382	57,310	54,334	
②製造品出荷額		百万円	目標値				81,794	79,340	76,960	74,651	72,412	70,240	
実績値			84,324	103,109	72,419	110,666	110,985	112,137	112,137	112,137	112,137	112,137	
③製造品出荷額(窯業・土石製品製造業)	百万円	目標値					16,642	15,810	15,019	14,269	13,555	12,877	
	実績値		17,518	15,427	12,557	14,524	13,109	12,782	12,782	12,782	12,782	12,782	
④工業・商業・サービス業の法人税納税額(税務課から法人税データ)	千円	目標値					229,056	217,604	206,723	196,387	188,568	177,239	
	実績値		218,339	245,848	267,761	256,405	228,918	235,342	220,489	223,103	223,103		
成果指標設定の考え方	○「経営を安定させ、事業を継続して行ってもらおう」における指標は、①商業・サービス業の売上高、②③製造品出荷額において把握する。 ○既存の企業の活性化度合いは、④工業・商業・サービス業の法人税納税額において把握する。												
成果指標の把握方法及算定式等	○対象の①、②及び成果指標の①は、経済センサスによる(21年度、24年度、27年度) ○対象の③、④及び成果指標②、③は、工業統計調査による(4人以上の事業所)により把握。 ※対象③④、成果②③のH27実績値はH26年度の ○成果指標④については、市の税システムから抽出(個人事業所は含まない。)												

2. 施策の役割分担と状況変化

役割分担	1)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民や地域、行政と協働でやるべきこと)	2)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地元購買率を高めるよう心がける。</li> <li>○市街地などで開催されるイベントに積極的に参加する。</li> <li>○事業者は高齢化への対応など、社会環境の変化に応じたサービス、商品の開発に努める。</li> <li>○桜川市の人、物、歴史等を利用して、商店街の特色を活かすよう努める。(伝統的建造物群保存地区の利用等)</li> <li>○桜川市を代表する地場産業は石材産業と認識し、その理解とPRに努め、石のイベントなどに積極的に参加する。</li> <li>○石材加工伝統技術の保存・伝承や後継者育成に協力する。</li> <li>○石材業者間の連携を密にし、振興策を共同で検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の資源を活用し購買力を高める支援を行う。</li> <li>○地元特産品の新商品開発や販路拡大について支援を行う。</li> <li>○中小企業者への金融支援を行う。</li> <li>○商業立地の適正な誘導に努める。(大規模小売店の立地申請等に関する事など)</li> <li>○石材産業を地域のシンボル産業として位置づけ、市内外へのPRに努め、地元産出・地元加工による石材振興を促進する。</li> <li>○伝統技術継承や後継者育成のため、関係機関への支援を行うとともに、石の生産地や加工場所を保証する検査基準機関設置を検討する。</li> </ul>
状況変化	3)施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか?	4)この施策に対して住民、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○(商業)人口減少により商業サービス業の顧客は減る傾向にある。ただ、高齢化の進行にもなっており、近場・市内で買い物をする市民の割合が高まってきている。高速道路の開通にもなっており、若い人や買い回りの購入は宇都宮などの市外で買い物をする割合が増えている。 ※岩瀬→水戸、上三川(30分以内) 真壁→学園(30分)</li> <li>○つくばエクスプレスの開通で東京への買い物も身近になった。</li> <li>○個人経営の商店の跡継ぎ問題。・インターネットによる買い物の普及、拡大。</li> <li>○(鉱工業)高速道路の開通により、物流が円滑・迅速に行うことができるようになり、立地的な利点が増えてきた。</li> <li>・石材業は現役世代の高齢化は進む。安価な外国産石材(中国、インド、アフリカ)の輸入拡大、跡継ぎの問題。仏石需要の減少が予測される。</li> <li>・原石輸入でなく、加工済み石材製品で輸入されている。大きな石材業者が商社化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成23年3月の後期総合計画時のアンケートの結果によれば、商工業の振興の優先度は平均であるが、満足度についてはかなり低い。</li> <li>○市内に大型のショッピングセンターがないのが不便という声はある。</li> </ul>

3. 基本事業の目的と指標

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① 商工業の活性化	商工業者	収益性が高まる	工業・商業・サービス業の法人税納税額	実績値	245,848	267,761	256,405	228,918	235,342	220,489	223,103
				千円							
② 商工業の経営基盤強化	商工業者	健全な経営をする	市内の事業所数	実績値	2,398	2,398	2,212	2,212	2,212	2,184	2,184
				所							
③ 石材業の振興	石材業者	健全な経営を維持してもらう	①製造品出荷額(窯業・土石製品製造業)	実績値	15,427	12,557	14,524	14,524	14,524	12,782	12,782
				百万円							
			②市内の鉱工業事業所数	実績値	196	231	203	203	203	183	183
				所							

4. 施策のコストの実績(施策を構成する事務事業シートより積算)

施策のコスト	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績
	①本施策を構成する事務事業の数	件	23	23	12
②施策事業費(一般財源以外)	千円	0	88,701	1,675	
③施策事業費(一般財源)	千円	50,543	37,631	47,693	
④施策事業費の計(②+③)	千円	50,543	126,332	49,368	
⑤施策人件費(事務事業の人件費合計)	千円	3,063	2,651	5,893	
⑥計(④+⑤)	千円	53,606	128,983	55,261	

5. 施策に関連する主要事業等

関連する事務事業	区分	事務事業名	摘要
	主要事業	商工会等地域振興対策事業費助成事業	後期基本計画主要事業
主要事業	中小企業事業資金保証料及び利子補給助成事業	後期基本計画主要事業	
事務事業	大和の石まつり開催助成事業	H27貢献度上位、H28優先度上位	
事務事業	真壁石材協同組合運営助成事業	H27貢献度上位	
事務事業	羽黒石材商工業協同組合助成事業	H27貢献度上位	
事務事業	商工会運営助成事業	H27貢献度上位	

施策番号	502	施策名	商工業の振興	主管課	商工観光課
------	-----	-----	--------	-----	-------

6. 施策の成果水準とその背景・要因

1)-①現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の事業者数はH21年度調査時より214社減少し、それに伴い従業者数も335人減少している。</li> <li>市内の鉱工業者数はH21年度調査時より33社減少しているが、従業者数はほぼ横ばいとなっている。</li> <li>商業売上高はH21年度調査時より3,951百万円増加している。</li> <li>全体の製造品出荷額はH21年度調査時より37,813,000百万円増加している。ただし、石材業(窯業・土石製品製造業)の出荷額は減少しており、石材業の衰退が見られる。</li> </ul>		

1)-②成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてが上回った	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った
	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> すべての成果指標で目標値を下回った
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業売上高は目標値44,447百万円に対して実績値が57,310百万円となり、目標値を上回った。</li> <li>製造品出荷額は目標値72,240百万円に対して実績値が112,137百万円となり、目標値を上回った。</li> <li>製造品出荷額(窯業・土石製品製造業)については目標値12,877百万円に対して若干下回っている。</li> <li>法人税納税額は目標値177,239千円に対して実績値が223,103千円となり目標値を上回った。</li> </ul>		

2)他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか低いのか、その背景・要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり高い水準である	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば高い水準である	<input type="checkbox"/> 他の自治体とほぼ同水準である
	<input checked="" type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば低い水準である	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり低い水準である	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>H28年度の県内の商業売上高は、桜川市が54,334百万円で県内29番目であり、県内ではやや低い水準である。</li> <li>H28年度の製造品出荷額は112,137百万円で県内28位であり、県内ではやや低い水準である。</li> </ul>		

3)住民の期待水準との比較(住民の期待よりも高い水準なのか、同程度なのか、低いのか)、その他の特徴は?

実績比較	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり高い水準である	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば高い水準である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の期待とほぼ同水準である
	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば低い水準である	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり低い水準である	
背景・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業売上高、製造品出荷額とも増加傾向にあるが、事業者数、従業員数が減少傾向にある。</li> <li>H28年度市民アンケートによると食料品や日用品などの購入については、90.5%の方が市内の店舗で購入している。</li> </ul>		

7. 総合計画後期基本計画(H24~28)の振り返り

区分	これまでの取組成果	
施策全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜川市商工会が行う経営指導、金融指導、税務・経理指導、労務指導等の市内事業者への経営支援活動に対し、運営助成金を支出し、市内の商工業者の経営安定が図られた。</li> <li>桜川市内の中小企業者に対する自治金融制度による低利の事業資金の融資と、これに関する保証をあっせんし、事業者の金融の円滑化が図られた。</li> <li>地元石材をPRする展示会・イベントを支援し、石材業の振興に貢献した。</li> <li>茨城県・笠間市・結城市とともに、茨城県伝統的工芸品産業イノベーション推進事業に着手した。</li> </ul>	
基本事業	①商工業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工会運営助成事業では、桜川市商工会が行う経営指導、金融指導、税務・経理指導、労務指導等の市内事業者への経営支援活動に対し、運営助成金を支出し、市内の商工業者の経営安定が図られた。</li> <li>H26年度より桜川市名物づくり委員会を立ち上げ、ユメシホウや福来みかんなどの地元産品を使った特産品の開発を開始した。</li> </ul>
	②商工業の経営基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業事業資金融資あっせん事業では、自治金融の融資窓口(商工会に委託)を設け、桜川市内の中小企業者に対する自治金融制度による低利の事業資金の融資と、これに関する保証をあっせんし、事業者の金融の円滑化が図られた。</li> <li>中小企業事業資金保証料及び利子補給助成事業では、自治金融を借り入れた事業者に対して保証料(自治金融)もしくは利子相当額(マル経融資)を助成した。</li> </ul>
	③石材業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城県の石のPRを桜川市と笠間市で行うため、茨城県石材協同組合連合会が開催する「いばらきストーンフェスティバル」を支援した。</li> <li>地元石材の販路拡大を図るため「大和の石まつり」の開催を支援した。</li> <li>H28年度より「茨城県伝統的工芸品産業イノベーション推進事業」に着手し、真壁石燈籠を主にした新たな石の活用について事業を開始した。</li> </ul>